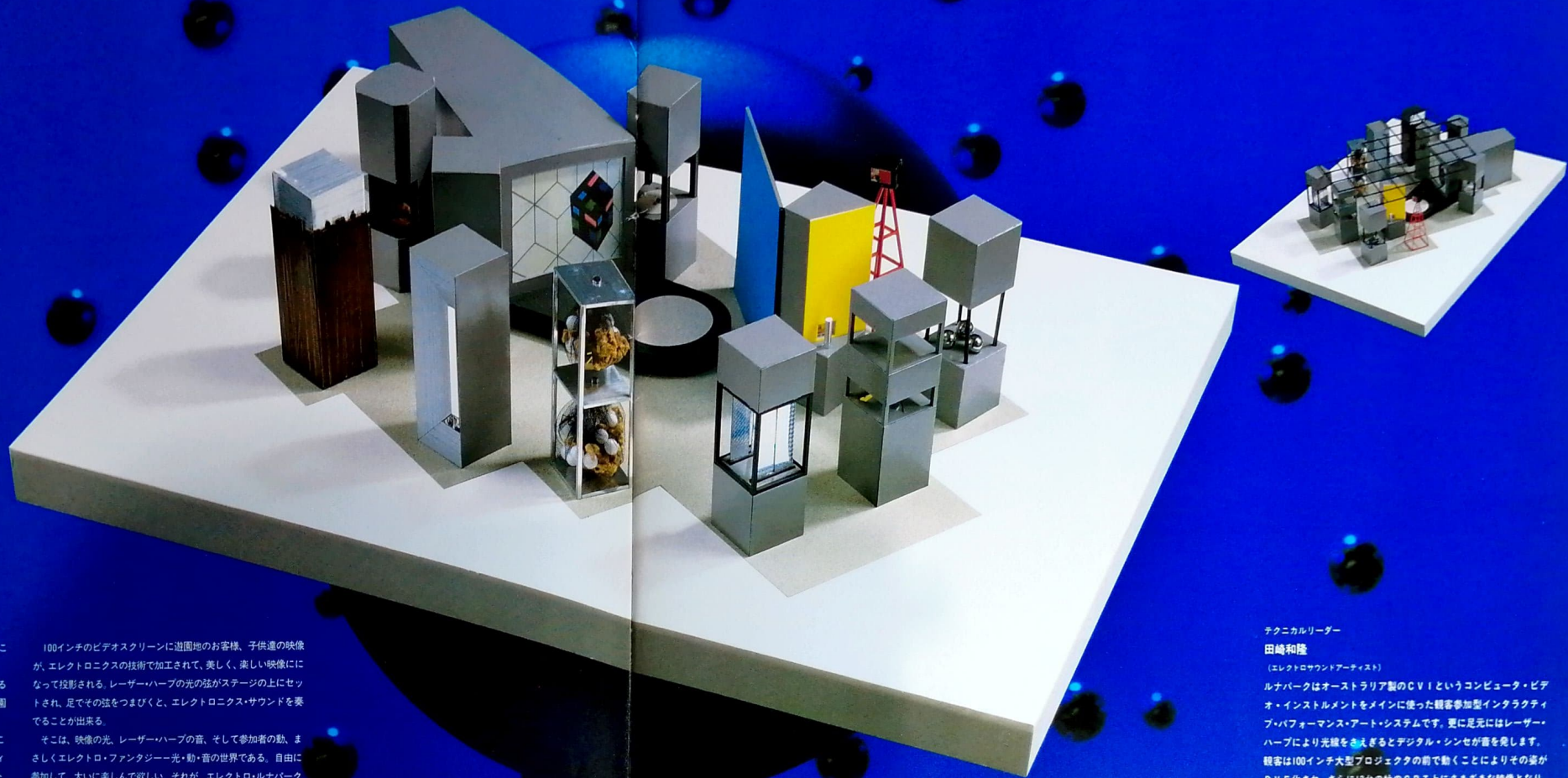


ELECTRO

FANTASY



# ELECTRO - FANTASY - LUNAR - PARK



総監督

伊藤隆道

(演出作家)

ヨーロッパの街かどで、子供達を楽しませている遊園地がある。この遊園地をルナ・パークと呼んでいる。

アール・ジュニは、このヨーロッパの子供達の楽しみの一つであるルナ・パークをエレクトロニクス仕掛けにして、参加型の映像遊園地、エレクトロ・ルナパークを創った。

アール・ジュニのメンバーを中心に20人の人々によって工夫をこらし、コンピューター、ビデオ、カメラ、コンピューターグラフィック等の最新エレクトロニクス映像装置を駆使して、このエレクトロ・ルナパークを楽しいアーティストックな参加型遊園地として演出する。

100インチのビデオスクリーンに遊園地のお客様、子供達の映像が、エレクトロニクスの技術で加工されて、美しく、楽しい映像になって投影される。レーザー・ハープの光の柱がステージの上にセットされ、足でその柱をつまむと、エレクトロニクス・サウンドを奏でることが出来る。

そこは、映像の光、レーザー・ハープの音、そして参加者の動き、まさしくエレクトロ・ファンタジー・光・動・音の世界である。自由に参加して、大いに楽しんで欲しい。それが、エレクトロ・ルナパークである。

テクニカルリーダー

田崎和隆

(エレクトロサウンドアーティスト)

ルナパークはオーストラリア製のCVIというコンピュータ・ビデオ・インストールメントをメインに使った観客参加型インタラクティブ・パフォーマンス・アート・システムです。更に足元にはレーザー・ハープにより光線をかえざるとデジタル・シンセが音を発します。観客は100インチ大型プロジェクタの音で動くことによりその姿がDVDF化され、さらにぼ台の柱のCRT上にさまざまな映像となり、音も発するわけです。つまり主役は(あなた)で、あなた自身がアートとなります。テクノロジーはアートを越えるか？



土佐尚子  
NAOKO TOSA  
ビデオアート

- 1984-1986 如月小春主宰 劇団NOISEの公演  
「モラル2nd」「ISLAND」「SAMSA」の映像制作担当
- 1985 NICOGRAPH'85 佳作賞  
(池袋サンシャインシティ文化会館・東京)
- 1985 六本木西部WAVEのBGV制作
- 1986 クローズ アップ ジャパン (ニューヨーク近代美術館)
- 1986 「NOGA'86」 インディペンデント アーティスト部門 3位  
受賞 (アナハイム・コンベンションセンター・U.S.A)
- 1986 「SIGGRAPH'86」アニメーション、スクリーニング及びア  
ートショー部門入選(ダラス・コンベンションセンター・U.S.A)
- 1986 「ハイテクノロジーアート国際展」銅賞受賞  
(池袋サンシャインシティ文化会館・東京)
- 1986 「日本映像フェスティバル」特別賞受賞
- 1987 「国際映像&音楽大賞」(フジTV主催) 最優秀演出賞受賞
- 1987 アート ドキュメント'87 入選 (橋本県立美術館)
- 1987 アメリカン フィルム フェスティバル ビデオアート部門 2  
位受賞 (N.Y.O.S.A.)  
SIGGRAPH'87 アートショー入選 (アナハイム コンベン  
ションセンター・U.S.A)  
コンピュータ アート展 (O美術館・東京)  
The 21st Annual New York Film-Video Exposition  
(メトロポリタン美術館 U.S.A.)  
Second Annual Australian Video Festival (オーストラリア)  
The second Emerging Expression Biennial  
(BRONX MUSEUM OF THE ART N.Y.)

これは、現代の情報廃棄物である。沙羅双樹



西村宜起  
YOSHIKI NISHIMURA  
ビデオアート

- 1954 名古屋市出身
- 1984 イリノイ工科大学 (シカゴ) デザイン学部大学院 (視覚デザイン専攻)  
修了
- 1985 第3回日系CGグランプリ入選
- 1986 NOGA 国際コンピュータアニメーションコンペ、シミュレーション  
部門3位受賞 (アナハイム、U.S.A)
- 1987 IMAGE DU FUTURE'87へ出品。(モントリオール、カナダ)

立体として存在する柱、その柱の面に立体を描くことにより、この視覚の遊  
びは意味を成す。

柱を見る人は、描かれた空間の中へ、そしてさらに、その中に降り注がれた  
ビデオの次元へと入り込む。



南之園康仁  
YASUHIRO  
MINAMINOSONO  
ライトアート

- 1960/鹿児島県出身
- 1983/金沢美術工芸大学工業デザイン科卒業
- 1984/レーザースペクトルマジック展(銀座月光荘)
- 1986/ハイテクノロジーアート公募展入選  
光のシンフォニーライトディメンション展(銀座月光荘)
- 1987/オブジェTOKYO展入選  
工業デザインなど、仕事のかたわら独自の作品を創作

時は2072年、地中から100年も前の物体が掘り起こされた。それは、  
核戦争にも破壊されることなくこの時代に何かを訴える。この物体  
から発するメッセージとは？



吉川信雄  
NOBUO YOSHIKAWA  
オブト絵画

- 1948 群馬県生まれ
- 1975 セントマーチンスクールオブアートに学ぶ (ロンドン)
- プリントワークショップ版画制作 (ロンドン)
- 1987 「構之展」サウスロンドンアートギャラリー

鋭く空を切る意志はなく、烈しく対立する面もない。内に溢れる人  
参をノコギリの形態で受けとめる。手のまわりに肌を色に代えて美  
面色。円柱のよろいをつけ無傷のままに立たずものは、死を無へと  
駆りたてるためだ。

